

第 67 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 25 年 9 月 9 日(月)－11 日(水)

岡山大学 津島キャンパス(日本機械学会「2013 年度年次大会」 附設展示会会場)

2. 来訪者:10 名

3. 説明概要:

2013 年日本機械学会「2013 年度年次大会」 附設展示会会場において、来訪者に核融合、ITER などに関する資料を配布し、ITER 計画について説明するとともに、ITER 機構職員募集および登録案内を行った。(ITER 統合支援 Gr 大原、上野)

4. 主な Q&A

Q:国際プロジェクトの管理や国際調達の実験があるのですが、核融合関連の実験がありません。応募しても大丈夫でしょうか？

A:イーター計画の場合は、ほとんどが物納調達(In-kind Procurement)になりますので、各参加者が調達する機器の品質、工程管理等が重要な仕事になります。これらの知識と経験のある方はもっと多くイーター機構へ参加していただきたいと思っています。

また、ITER のように多国間で行う国際プロジェクトにどのように関わったかなどの経験も重要視されると思います。原子力や核融合に関する知識があれば“売り”にはなりますが、必須ではないと思います。

Q:職務経験に関してですが、募集されているポジションと全く同一の職務経験が求められるのですか？

A:職務経験については、募集ポジション毎に Job Description に記載されていますので、それぞれ要求される条件をみだす必要があります。一般的に、募集されているポジションと同じ分野等での経験が求められます。

ご自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的に応募したらよいと思います。

Q:ひとりで複数のポジションに応募できますか。

応募ポジション数の制限はありません。応募するポジション毎に ITER 機構職員募集ページ(<http://www.iter.org/jobs>)から書類を提出下さい。

Q:ITER 機構職員募集や応募方法について具体的に教えてください。また面接はどのように行われるのですか？

A:ITER 機構の職員募集は、不定期に ITER 機構のホームページ

(<http://www.iter.org/jobs>)に掲載されます。このページで、現在募集中のポストやその職務に関する情報、募集のプロセスに関する説明などを見ることができます。募集されたポストの職務に求められる要件とご自分の経歴などを照らし合わせた上で、応募をご判断ください。

応募は同ホームページ(<http://www.iter.org/jobs>)上で、所定のフォームにご自分の情報を入力し、ITER 機構へ送信すれば手続きは完了します。

応募後、ITER 機構による書類審査に合格すると、次に ITER 機構が行う面接による審査を受けます。面接は ITER 機構の複数の面接者とテレビ会議システムを用いて面接することになります。テレビ会議で面接を行うのは、世界中のどこからでも平等な条件で面接を受けられるようにするためです。

この面接審査に対する支援として、原子力機構が実施している登録制に加入していただきますと、模擬面接ビデオを閲覧することもできます。また面接審査の対象の方の希望により、面接のトレーニング(自己負担なし)も行っています。スカイプ等のシステムをご準備頂きますと、ご自宅のパソコンからこの面接トレーニングを受講できます。ぜひご利用ください。

登録制への加入方法については、下記の URL をご覧ください。

http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1_information_system.html



日本機械学会「2013 年度年次大会」 展示会会場の様子